



住宅産業新聞

Housing Industry News

発行所 住宅産業新聞社
 発行人 宮村昭広
 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-28-8
 ラ・ベルティ新宿1101
 TEL (03)6233-9611
 広告 jutaku@housingnews.jp
<https://www.housingnews.jp>
 © 住宅産業新聞社 2022

《ユーザー版》

無料

「備えあれば憂いなし」 激甚化する自然災害に

ドローンを活用する取り組みが実用化へ向けて活発化。あらかじめ専用の搬入口を用意しておくことで、平常時の商品だけでなく、被災時に道路が寸断されても支援物資などが届けられる（ミサワホーム）



省エネ補助金で支援

高度な耐震性も重視



実大モデルを使い振動実験を繰り返して強度や耐久性を確認（上）積水ハウス。分譲住宅地では、災害に備えて集会所や共有施設に大型の蓄電設備や太陽光パネルを設置するケースも



阪神・淡路大震災やその後の大きな

「喉元過ぎれば」のことわざ通りとも思えるが、非常時の備えの必要性は感じているものの、自らが被災した姿が実感できず、なかなか対策の実施に踏み切るまでには至らないのが実態のようだ。

住友生命が実施したアンケートでは、地震を「最も備えが必要な対策」としながらも、この1年間で実施した、新たな防災対策では「特になし」が4割近くを占めた。トップ回答だった。ハザードマップなどを用いた自宅周辺の危険度などを「把握している」人は19%、防災備蓄についても「2日以下」が依然2割を占めるなど、対策の「お寒い」状況が明らかとなっている。

人が住んでいる住宅ストック約5200万戸強のうち、現行の耐震基準を満たしていない、強度が不足した住宅が約900万戸あるといわれている。6戸から5戸に1戸が「非耐震」住宅ということ。強度が不足した住まいとは、最近頻発する巨大台風の猛烈な風圧に対しても懸念があるというところでもある。

テレビの画面が、突然ニュース映像に切り替わった。はるか数千里離れた南太平洋の島国、トンガ沖の海底火山が大噴火した影響で津波が、日本に到達するという内容だった。日付が1月16日になって、しばらく経った頃のことだ。画面に太平洋側

快適さ備えた住まい提供

討してはいいだろうか。

国も住宅ローンの減税や補助金、給付金などの有利な制度も用意している。必要に応じて改修や建て替えを検討してはいいだろうか。

技術は日進月歩。住まいの省エネ性能や快適さ、耐震性など気になる部分があるなら、これを機に耐震診断を受けてみるのもいい。

「備えあれば憂いなし」という言葉もある。東日本大震災から11年、熊本地震からも丸6年になろうとする今、最近の住宅は高度な耐震性能や制震機能を備えつつ、省エネ性が高く快適な仕様となっている。

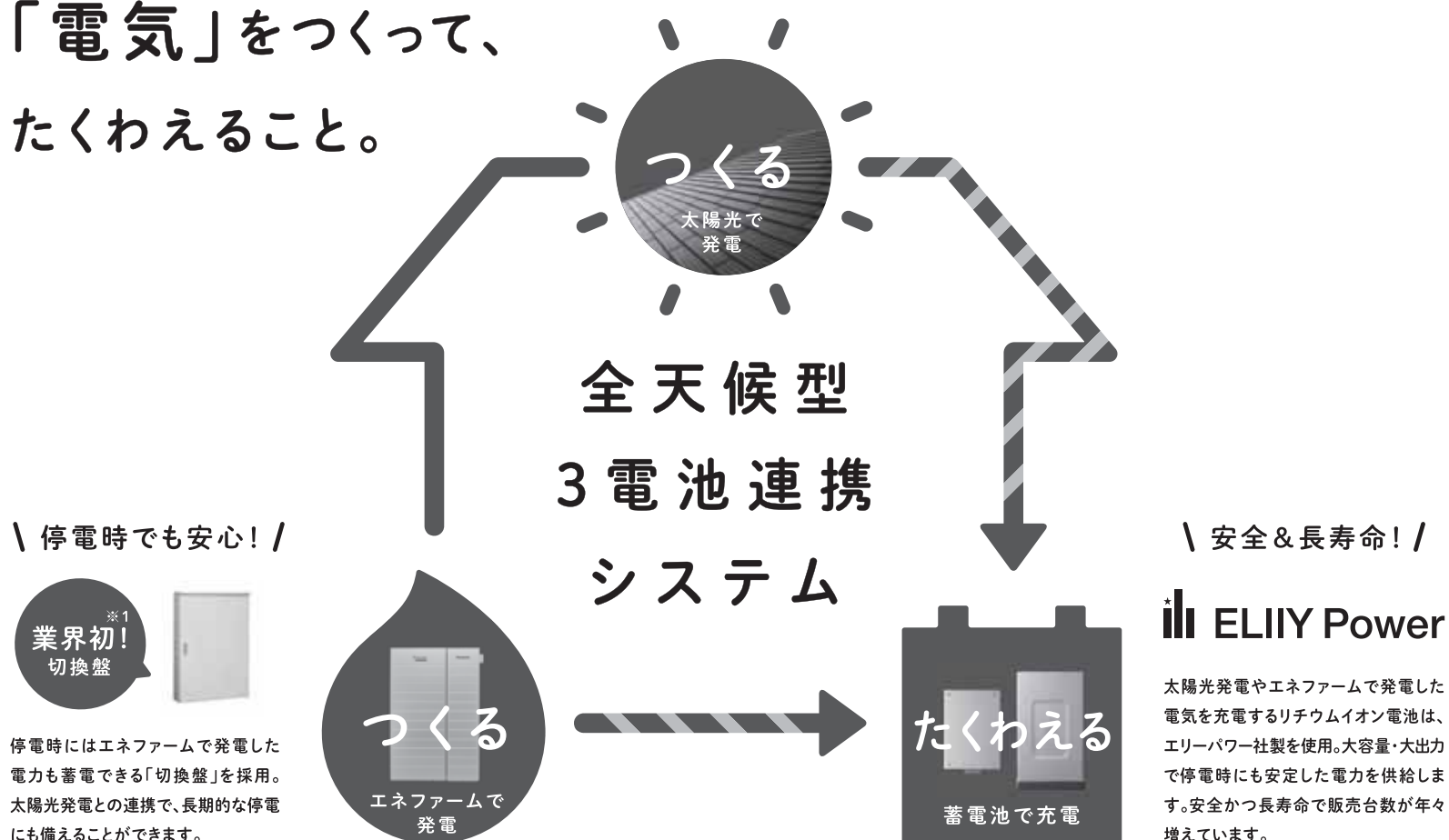
内閣府では、WEBの『地震への備え』で「大地震では家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定や配置の見直しで「安全空間」を作っておくよう推奨している。

地震でも、多くの人が倒れた家具の下敷きとなって、亡くなった大けがをした。これは住まい自体の耐震性が、基準を十分に満たしていたとしても、激しい揺れによって家具が「凶器」ともなりうることを示している。

「自給自足を家に任せる」って どういうこと!?

それは、わが家でムダなく

「電気」をつかって、
たくわえること。



おトクがつづく!

普段は光熱費を大幅に削減!

安心がつづく!

停電時は約10日分の電力を確保!

※3
停電時でも、いつも通りに家電が使える!



消費電力が
大きい家電もOK!

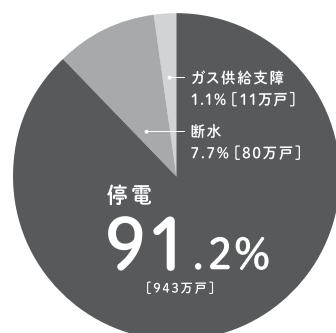
※1 2019年2月当社調べ(プレハブ住宅業界) ※2 水道・ガスが使える場合 ※3 最大2000W出力。電子レンジ、炊飯器はエネファーム稼働時のみの利用を想定。

Study | 電気の自給自足で、二次災害に備えよう

二次災害の
ライフライン被害は
「停電」が約90%を
占める。

「電気の自給自足」という備えが
大きな安心になります。

※内閣府(防災担当)災害情報2017~2019年より作成。
※戸数は2017~2019年の災害による被害発生総戸数。



Voice | オーナーさまからの安心の声



残暑が厳しい中での停電でしたが、
電気が使えたことで
暑さをしのぐことができました。

千葉県 Iさんご一家



停電時でも普段と同じように
冷蔵庫が使えたので、
赤ちゃんに食事をあげられました。

北海道 Aさんご一家



Grow a new Life
新しい生活を育てよう

大和ハウス工業株式会社〈戸建住宅〉

東京本社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112

本社 大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241

www.daiwahouse.co.jp

お問い合わせ

0120
590-956

受付時間
9:00~21:00
(年末年始を除く)

地震への備え、各社技術力示す

被害状況把握の取り組みも

壁に設置された制震や耐震装置は、大きな開口部での明るいリビングと地震への強さを両立させ（上＝ミサワホーム）。装置自体は建物が完成すると目には触れなくなるが、長い年月住まいをしっかりと守る（中＝旭化成ホームズ）

繰り返す激しい揺れが続いても建物を守り続けることができる。揺れが激しいほど、減衰力が強まるような設定ともなっており、大地震から中地震、小地震といった、さまざまな揺れに対して制震効果を発揮する。

木造住宅系では、ミサワホームの制震装置『MGE O（エムジオ）』は、壁の内部に複合テコの原理を応用した独自の変位拡大機構と、高減衰ゴムをセットした制震ダンパーを組み合わせた構造。地震エネルギーを最大約50%軽減でき、さらに繰り返す余震にも効果を発揮するため、建物の破損や内装仕上げの損傷も防げる。

EMJIOの制震ダンパーには、レーシングタイを受けけない建物内部に設置するため、常に安定した効果を発揮する。こうした躯体側から建物を守るような動きに加え、全体としての被害状況の把握や効率的な点検への取り組みも。旭化成グループは地震発生時の建物の被害状況を即時推定するIoT防災情報システム『LONG LIFE AEDS（ロングライフアイジス）』を国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）と共同で開発した。さらに、自動プログラム（BOT）を活用して、災害発生時における設備機器復旧方法などの閲覧や、建物の被害状況を把握して、効率的な点検・フォローで顧客の安心につなげる「災害BOT（仮称）」の運用を開始した。

制振や耐力壁適正に 繰り返す余震も効果発揮

地震に強い建物にするには、制震壁や耐力壁を壁とオリジナル制震壁を約半分に低減③繰り返す余震に効果を発揮し、要があるのは当然のこと。同位置に重ねて配置する耐久性が高い①の3点だ。さらに、こうした災害への備えとともに、被害後の生活を視野に置いた生活継続計画「LCC」を高める。

「P」への対応やDXを活用した被災状況の把握などの技術も開発されている。大手住宅メーカーの「K」型に配置したフレーム。主に①地震動エネルギーを熱エネルギーに効果的に吸収するコア技

術が「Σ（シグマ）形デバイス」。強さとしなやかさを兼ね備えた独自の断面積となる。地震動のエネルギーを同デバイスに集中させることで、柱や梁の損傷を防ぐと、S（エスプラス）仕様の、従来仕様と比べ巨に軽減（同社従来比）し、建物全体の損傷も最小限に抑えられる。特に、大

地地震時の建物の揺れを最大で2分の1に抑え、旭化成ホームズは、軽量化、斜材と横材の組み合わせによって、座屈を抑え、下部（基礎）と上部力（揺れに対するブレイキ）の温度変化などの影響

を軽減する。旭化成ホームズは、軽量化、斜材と横材の組み合わせによって、座屈を抑え、下部（基礎）と上部力（揺れに対するブレイキ）の温度変化などの影響



ミサワホームが提案している、防災・減災ソリューション「MISAWA LCP」。制振装置EMJIOや災害用備蓄収納「蔵」、被災度判定計「ガイネット」などを組み合わせて、日常の「備え」、災害時の「守り」、復旧までの「支え」の3つの観点で、安心な暮らしを推進していく。さらに、地震の改良で対応し、住友林業とミサワホーム、ゼネコンの飛鳥建設の3社は、共同で「丸太打設軟弱地盤対策&カ

ーボンストック工法」などの「工法」を開発し、このほど一般財団法人日本建築センターの評定を受けていない建物内部に設置するため、常に安定した効果を発揮する。こうした躯体側から建物を守るような動きに加え、全体としての被害状況の把握や効率的な点検への取り組みも。旭化成グループは地震発生時の建物の被害状況を即時推定するIoT防災情報システム『LONG LIFE AEDS（ロングライフアイジス）』を国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）と共同で開発した。さらに、自動プログラム（BOT）を活用して、災害発生時における設備機器復旧方法などの閲覧や、建物の被害状況を把握して、効率的な点検・フォローで顧客の安心につなげる「災害BOT（仮称）」の運用を開始した。

木と生きる幸福



住友林業

いい木と住むこと。

住友林業の木の家

木と言う自然の素材だけが持つ、やさしさ。
その特性が生む、快適さ。銘木たちが彩る、上質さ。
そして磨き抜かれた品質がつくる、堅牢さと耐久性能。
確かなものを、大切な人たちとシェアしたい。
そんな時代だからこそ、本当にいいものを見極めていきたい。
木を愛し、木を育み続けてきた
住友林業だから造ることが出来る家があります。

<https://sfc.jp/>

住友林業株式会社

〒100-8270 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館

一番の災害対策は日頃からの備え

災害時に役立つサービス等

災害用伝言ダイヤル(局番なしの「171」)

伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できる

災害用伝言板(携帯電話等の事業者提供)

震度6弱以上などの大規模災害発生時に利用可能
携帯電話やPHSからインターネットサービスを使用して文字情報を登録することで家族などが、情報を閲覧できる

家族の安否確認方法を決めておこう

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるように日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておこう



もしもの時の情報収集(政府SNS)

通信インフラ等が多大な被害を受ける中、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)は情報伝達の手段として有効
ただし、いわゆるデマには注意が必要だ
●災害時に役立つ政府の公式ツイッターアカウント(2022年2月28日現在)

- ☆首相官邸(災害・危機管理情報) @Kantei_Saigai
フォロワー数 約298万人
- ☆首相官邸(被災者応援情報) @kantei_hisai
フォロワー数 約5万6千人
- ☆総務省消防庁 @FDMA_JAPAN
フォロワー数 約98万2千人
- ☆内閣府防災 @CAO_BOUSAI
フォロワー数 約49万人



地震による通電火災を防ぐ『感震ブレーカー』

「感震ブレーカー」とは、地震発生時に設定値以上の揺れを感知すると、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具
感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に通電火災を防止する有効な手段

(株)エヌ・アイ・ピー『スイッチ断ボール3』



落下前



落下後

簡易型の例

通電火災とは？

大地震などによる停電が復旧し、ドライヤーや電気ストーブなどに通電が再開される際に発生する火災のこと
阪神大震災の火災の内原因が特定できた火災の約6割が通電火災とされている

感震ブレーカーの種類

	タイプ	価格	工事	主な特徴
分電盤タイプ	分電盤タイプ	約5万円～8万円	必要	・分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し電力を遮断 ・作動の信頼性が高い ・家屋内の全ての電力が遮断されるため医療機器などには別途電源が必要
	感震リレータイプ	約2万円～4万円	必要	・外付けタイプのため既存のブレーカーに設置可能 ・分電盤ごと交換するより安価 ・家屋内の全ての電力が遮断されるため医療機器などには別途電源が必要
コンセントタイプ	埋込み型	約5千円～2万円	必要	・作動の信頼性が高い ・コンセントごと遮断が可能 ・設置数が増えればコストが増加 ・設置していないコンセントからの発火の可能性あり
	タップ型		不要	
	簡易タイプ	約3千円～4千円	不要	・安価 ・設置が容易 ・取り付け方などにより、作動の信頼性に劣る場合も ・家屋内の全ての電力が遮断されるため医療機器などには別途電源が必要

※内閣府資料から作成 ※価格などは参考のため実際には異なる場合あり

避難経路の確保と生活必需品の備蓄を

非常用持ち出し品チェックシート

貴重品類	
現金 10円玉	
10円玉は公衆電話用に 通帳、カード、健康保険証、運転免許証などは番号を控えたメモかコピーを用意しておくといでしょう	預金通帳 印鑑 保険証 免許証
避難用具	
懐中電灯はできれば一人に一つ用意したいもの	懐中電灯 携帯ラジオ 予備の乾電池 ヘルメット・防災ずきん
生活用品	
避難所生活に最低限必要なものです 赤ちゃんやお年寄り、障がい者がいる場合など考慮して揃えましょう	厚手の手袋 毛布 缶切り ライター・マッチ ナイフ 携帯用トイレ
救急用具	
救急箱には絆創膏・消毒液など、その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるといでしょう	救急箱 処方箋の控え 胃腸薬・便秘薬・持病の薬 生理用品
非常食品	
最低3日分は用意しましょう そのまま食べられるものが便利です	乾パン 缶詰 栄養補助食品 アメ・チョコレート 飲料水
衣料品	
衣類は動きやすいものを選びましょう セーターなどの防寒具も寒い季節には役立ちます	下着・靴下 長袖・長ズボン 防寒用ジャケット・雨具
その他	
携帯用カイロ	

※チェックシート出典：消防庁

コロナ禍の今、従来の非常持出品にマスク、体温計、アルコール消毒液、ウェットティッシュといった、感染症対策用品も加えておきましょう。また、避難所が密状態になる可能性もあるので、親戚・知人とも避難場所について予め相談しておきましょう。

災害時に危険な家具

家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しよう
寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう

タンス

床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具で固定する

食器棚

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には開かないように留め金を付ける

本棚

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、重い本は下の段に

テレビ

粘着マットを敷いて転倒を防ぐとともに、機器の裏側をワイヤーなどで壁やテレビボードに固定する

冷蔵庫

裏側をワイヤーなどで壁に固定する

食料・飲料・生活必需品などを備蓄しよう

国の推奨は以下の通り

飲料水 3日分(1人1日3リットルが目安)

非常食 3日分の食料として、アルファ米、缶詰、乾パン、栄養補助食品など
トイレ用ペーパー、ティッシュ・マッチ、ろうそく・カセットコンロ、など

※大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされている

※飲料水とは別に、トイレを流したりする

ための生活用水も必要になる

日頃から、水道水を入れたポリタンクを

用意する、お風呂の水をいつも張って

おくなどの備えをしておこう

※食料・水・衣類などは人数分用意し、非常用袋

などに入れ、持ち出しやすい場所に置いておこう



地球のことも
考えるマンションが、
本当の価値ある
マンションだと思う。

木は語る。

いまこそ、マンションのあり方が変わる時だと。

住む人の幸福だけを追求するのではなく、
未来を見つめ、人を想い、
どこまで地球にやさしくなれるか。

そう考え、木でマンションをつくろうと
木を進化させた。

木の本気。

それは、プレミアム・モノコック構法※。

木造住宅の世界基準である枠組壁工法を、
独自の研究開発で磨き、
屋根・壁・床・基礎というほぼすべての場所で
マンション建築にかなうカタチに
進化させた最先端の技術。
木をふんだんに使用する
この構法を採用することにより、
鉄骨やコンクリートに匹敵する

耐震性や耐久性や遮音性を手に入れたことに加え、
マンション全体でCO₂排出を低減。
木に包まれ、心身ともに快適で健やかに暮らしながら、
これからの脱炭素社会に大きく貢献する
マンションが生まれた。

モクシオン。

それは、創業以来、
木造戸建住宅メーカーとして木にこだわり、
その強さ、その美しさ、その可能性を
誰よりも知る三井ホームの挑戦。

木造建築の新たな歴史が、
木のマンションとともに始まろうとしている。

木の、本気。

街に、一棟の豊かな森が生まれる。

※日本の風土や気候に合わせ進化させた枠組壁工法は、三井ホームオリジナルのテクノロジーの粋を【屋根・壁・床・基礎】に集約した、独自のモノコック構法です。

三井ホームの木造マンション[モクシオン]

MOCXION

脱炭素に貢献

同規模の鉄骨やRC造マンションに比べ、
CO₂排出量を約40%以上も削減。
建材をつくる時、加工する時、建てる時、
すべての過程で環境負荷を低減させます。

快適性と省エネの両立

高断熱により一次エネルギー消費量を約35%削減。
室内環境の質の維持と大幅な省エネを
実現させたマンションに与えられる、
ZEH-M(Oriented)の認定を取得しました。

断熱性能が高い

モクシオンは、建物の断熱性能を表す指標である
熱貫流率で優れた断熱性能を確保。
一般の集合住宅では難しいとされる、
省エネルギー対策等級4を取得しました。

優れた遮音性

高性能遮音床システムMuteを採用し、
RC造のマンションと同レベルの遮音性を確保。
独自の制振バンド技術が、高い衝撃吸収性能と
心地よい歩行感を実現させました。

耐震等級3の実現へ

一般住宅の約6倍もの強度を誇る、
独自の高強度耐力壁(壁倍率30倍超)
「MOCX wall」を開発。木造中層建築物で
耐震等級3の実現が可能になりました。

最高ランクの耐久性

住宅性能表示制度で建物を
評価する項目の一つである、劣化対策等級。
モクシオンは、この評価基準で最高ランクの3を取得。
75~90年の耐久性を確保しました。

お問い合わせは

☎ 0120-94-4331 9:00~18:00 (土・日・祝日を除く)

三井ホーム株式会社 本社

〒163-0453 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル53階

憧れを、かたちに。



三井ホーム



三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

&EARTH with WOOD

モクシオン www.mitsuihome.co.jp/property/mocxion/



災害に強く安全で快適な住まい提供

旭化成ホームズ ロングライフファイブジス



観測データや地盤DBで建物被害状況を即時推定

旭化成ホームズなど旭化成グループと、国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）は、地震発生時の建物の被害状況を即時推定する「IoT防災情報システム」『LONG LIFE AEDG:IS（ロングライフアイジス）』を共同で、2022年度から運用を開始する。ロングライフアイジスとは、地震発生後の建物被害レベルや液化の発生状況を、邸別に推定するシステム。一定数の戸建住宅『ヘーベルハウス』と集合住宅『ヘーベルメゾン』に設置した、地震計の地震動観測データ、防災科研の知見を生かして整備した地盤データベース、および地震動伝達に関する高速演算手法を組み合わせた。地震発生後10分から2時間程度で状況が把握できるよつになる。これまでに、システムの有効性を検証しながら、運用エリア拡大の準備を進めてきた。具体的には、システム構築の第1フェーズとして、23区内に建つ旭化成ホームズ供給の戸建住宅『ヘーベルハウス』166棟に対する地震計設置が完了。昨年7月からシステムの試験運用をスタートさせている。さらに、22年度からは第2フェーズとして、旭化成ホームズがヘーベルハウスを展開する全エリア（21都府県）での運用を目指す。大地震発生時は、どこでどのような被害が発生しているかを、正確かつ迅速に把握する必要がある。

る。これは、その後の応急・復旧・復興のスピードにも影響する。同システムの運用が始まれば、災害時のサポート体制の強化が期待できる。

旭化成ホームズは、これまでも戸建住宅全棟への制震構造の標準採用など、業界に先駆けた取り組みを行っており、今回もその一環。2019年には「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2019」で、最優秀レジリエンス賞を受賞している。

防災科研は、強震観測網（K-NET、KiK-net）の観測データに基づき、大地震のような広域災害時に、被害全体をリアルタイムに推定し状況を把握する地震被害推定システム「J-REDS」を構築。今後、旭化成グループと防災科研は、その予測結果を取り込み、システムの高度化を進めていく。

また、現在両社は地震発生後の個別建物被害レベルの推定に向けた研究に加え、防災におけるSNS情報の活用に向けた共同研究を進めており、引き続き地震災害時の迅速な復旧・復旧支援の強化に取り組んでいくとしている。

住友林業ビッグフレームレジリエンス



高い耐震性と快適性を両立 日本の気候風土に最適な家

住友林業のビッグフレーム（BF）構法の戸建住宅『BIG FRAME RESILIENCE（ビッグフレームレジリエンス）』は、耐震性の高い構造に、さまざまな災害対応設備を搭載することで、防災力を高めた住まい。日本の気候風土に最適な木造住宅を独自のテクノロジーで革新することで、格段に強度を高めるとともに、非常時の安心も平常時の快適性も実現した木の家となっている。

BF構法は、同社が開発した日本初の梁勝ちラメン構造。主要構造材に、一般的な105ミリ角の柱の5倍もある「ビッグコラム（大断面集成材）」を用いるとともに、接合部を金属同士で緊結する「メタルタッチ接合」を採用し、構造躯体を強固に一体化する。

3階建ての実大モデル実験で、東日本大震災や阪神・淡路大震災級の震度7クラスの地震波や強い余震波を、繰り返し246回もの加振に耐えたことで、構造躯体の耐震性が維持され続けることを確認している。

住宅金融支援機構の「省令準耐火構造」基準に標準仕様で対応。壁や天井の内部を区分する「ファイヤーストップ構造」により、上下階間や各部屋間の火災拡大を抑制する。一般の木造住宅に比べて火災に強く、火災保険料が割安ですむ。大型化する最近の台風にも耐える性能も、実大モデルで実証済みとなった。千葉県に大きな被害をもたらした2019年の台風19号の最大瞬間風速57・5m/sを超える88m/sの耐風圧性能を備える。防水性能は、1時間当たり240mmの雨量に相当する水を段階的に与え、さらに毎秒最大60mmまでの風圧を発生させる試験で、高い防水性能も確認した。

ライフラインが遮断された非常時にも、エネルギーの自給自足や充実した備蓄スペースなど、家族の命を守るシェルターとして、その防災力を発揮。復旧までの一定期間生活を続けられる機能を備えるとともに、より快適で安全な日々の暮らしも提供する。

具体的には、太陽光発電（PV）システムや壁掛け型蓄電器を備え、災害時の停電に対し必要な電力を確保。平常時は毎日の必要な電気を自家発電で賄い、地球に家計にやさしい暮らしを実現できる。さらに、断水時の生活用水のための雨水タンク、屋根下の空間の有効活用に、大量の備蓄品が収納可能な小屋裏収納も設定している。

HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE

自分らしい生き方に、
住まいを合わせていく時代へ。

価値観やライフスタイルが多様化するいま、
1つの住まいを家族代々住み続ける人もいれば、
マンションから賃貸住宅へ、
戸建住宅からマンションへ、
ライフステージや目的に応じて住み替える人も
いらっやいます。
住まいに縛られることなく自分らしい生き方に、
住まいを合わせていく。
そんな自由で豊かな暮らしを実現するために、
わたしたちは、家族のこと、
資産のこと、社会のこと
あらゆることを考え抜き、最適な答を
ご提案いたします。



各種資料のご請求・お問い合わせ先
下記電話番号またはメールアドレス宛にお問い合わせください。
TEL: **03-6899-3010** (土日祝除く9:00~18:00)
FAX: **03-6899-3400**
✉ j-koho@om.asahi-kasei.co.jp

〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング7階
旭化成ホームズ株式会社 広報室

※当社個人情報お取り扱いに関しては下記サイトを
ご覧ください。
https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html/?link_id=AH_footer28

住宅が欲しい

ロングライフ思想を掲げて半世紀。
良質で長持ちする注文住宅や既存住宅をご提供いたします。



注文住宅

ハーベルハウス

都市型住宅の先駆者。理想のマイホームを
フルオーダーメイドで建てるができます。



既存住宅

ストックハーベルハウス

暮らしの安心と快適を実現する
もうひとつの住まいの選択肢です。

部屋を借りたい

高い居住性能と充実した設備を兼ね備えた賃貸物件をご提供。
暮らしにぴったりなお部屋がきっと見つかります。



お部屋探し

ハーベルメゾン

様々なライフスタイルにあわせた物件を
取り揃えています。



お部屋探し(シニア向け)

ハーベルVillage^{ヴィレッジ}

介護施設ではなく、自立して暮らせる
シニア向けの賃貸住宅をお探し頂けます。

土地を活用したい

相続税対策や資産形成など、目的にあわせて
最適な土地活用プランをご提案させていただきます。



賃貸住宅

ハーベルメゾン

高い防災力をもつ安全安心な
賃貸住宅経営。
狭小の住宅地から大規模な
敷地まで対応可能です。



賃貸住宅(シニア向け)

ハーベルVillage^{ヴィレッジ}

超高齢社会のニーズを捉えた
賃貸住宅経営。
土地活用をととして社会に
貢献できます。



中高層ビルディング

ハーベルビルズ

最大8階建ての中高層
ビルディングの賃貸経営。
賃貸マンション・店舗・
オフィスなどへ展開可能です。



MISAWA

防災・減災住宅は、ミサワホーム。

ちょっとした揺れなのに、過剰に反応してしまう。豪雨のニュースに、家や家族が心配になる。

ミサワホームは、災害大国・日本のご家族に、ひとつ上の安全・安心をご提案します。

平常時から災害発生時、発生後まで3段階の防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」。

ふだん快適に暮らせる住まいが、そのとき、避難所としての役割を果たしてくれます。

1st
SAFETY
SOLUTIONS
備えるデザイン

2nd
SAFETY
SOLUTIONS
守るデザイン

3rd
SAFETY
SOLUTIONS
支えるデザイン

MISAWA-LCP

備える▶守る▶支える[防災・減災ソリューション]

MISAWA
Life
Continuity
Performance



先進の防災・減災ソリューションを詳しくご紹介した「MISAWA-LCP」カタログを差し上げます。

HP ホームページ www.misawa.co.jp/catalog/ ハガキ(住所・氏名・年齢・電話番号を明記)
〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 私書箱6111号 ミサワホーム株式会社「LCP」K係

※当社では、お客様の個人情報を、建築・リフォーム工事、不動産取引に関する情報・サービス案内のお届け、訪問、各種プランのご提案、アンケート調査等の実施目的で利用いたします。その他詳細は、www.misawa.co.jp/privacyをご覧ください。

詳しくはWEBで 検索

住まいを通じて生涯のおつきあい

新しい暮らしをデザインします

ミサワホーム

価値と快適をデザインします

ミサワリフォーム

賃貸経営から介護・福祉事業
複合土地活用まで

ミサワ資産活用

災害に強く安全で快適な住まい提供

ミサワホーム スマートブランドWS



感染予防に3つのゾーン 新たな日常は3デザイン

ミサワホームの『SMA「マイデザイン」』は、コロナ禍でのニューノーマルライフを豊かにする3つの「ニューノーマルデザイン」を盛り込んだ、企画タイプの木質系工業化住宅で、ニューノーマル対応の第3弾商品となる。特に、災害へのレジリエンスについては独自の「MISAWA-LCP」を採用している。

感染症予防やレジリエンスを踏まえた新しい日常を快適で安心して楽しむ「ステイデザイン」のほか、間取りとインテリアをカスタマイズする「リチャージ」を用意している。

LDKの大部分に広がる高さ約3メートルの高天井と、日射を潤沢に取り込む高窓が標準仕様。家で過ごす時間が多くなるこれからの時代に、家族みんなが集っても開放的に過ごせるような工夫も行った。

第3の「ライフデザイン」としては、同社の新築住宅保証制度による業界最長クラスの長期初期保証、維持管理保証制度による保証延長、既存住宅保証制度を利用した保証満了後の再保証、の3つの安心保証を用意している。

するイエローゾーン、および安全なホワイトゾーンの3区分となる。

基本は「持ち込まない」「放っておかない」「かからない」の3つの予防について、空間動線・アイテム・空気質環境を提案。持ち込まないでは、玄関脇に洗面化粧台を置く「たぐいま動線」とタッチレス水栓。「放っておかない」は抗菌・抗ウイルススプレーハンドル、「かからない」がフロアセントラル換気システム」などで構成する。

独自の「MISAWA-LCP」は、制震装置MGE OやZEH対応の高断熱設計、太陽光発電（PV）を標準仕様とし、蓄電池や燃料電池、V2H充電設備などの導入で「次世代ZEH+（プラス）」にも対応できる。

次いで「マイデザイン」は、10の基本プランで、家族構成や暮らし方に合わせて間取りのカスタマイズを可能にした。

感染症予防として、医療施設の院内感染を防ぐために用いられる、空間を3つのゾーンに分ける設計手法を住宅に応用。具体的には、ウイルスや細菌の侵入を前堤に重点的に対策するレッドゾーン、罹患した家族も使用

三井ホームの『MOCKX（モクシオン）』は、木を構造材に使用した木造マンションの新ブランド。国内最高レベル（壁倍率30倍超）の高強度耐力壁や高性能遮音床などを搭載し、「三井ホームが手掛ける『脱炭素社会に向けたサステナブル木造マンション』として」。屋根の太陽光発電（PV）と蓄電池で、万が一のエネルギー不足に対応するほか、災害時への備えとして共用部には備蓄庫も用意した。

型」に採択されたほか、三井ホームコンポーネントを進める「木でつくるマンションプロジェクト」が、2021年度グッドデザイン賞を受賞した。

今回、木造中層建築物で耐震等級「3」の実現を可能とする高強度耐力壁「MockWall」（モク・スウォール）を開発。ベイツ集成材の枠材に、独自開発の釘で構造用面材を固定している。

さらに、木材の乾燥・収縮による変形を自動で抑えるタイダウン金物を採用した。独自開発の釘は、先端にスクリー加工を施してあり、市販の釘打機で施工することができる。枠組壁工法で、国内最高レベルの壁倍率30倍を実現している。



屋根にPVや蓄電池備え 共用部には備蓄庫を用意

屋根には5・5キロワットの太陽光パネルを設置。発電した電気の一部を共用部で使いながら、容量11・2キロワットの蓄電池に電気を貯めているので、万一の停電時にも必要最低限の電気の使用が可能となる。さらに、共用部には備蓄庫もあり、災害の際には数日分の水と保存食も用意した。

三井ホーム MOCKX ION



SEKISUI HOUSE

家に帰れば、積水ハウス。

その実現に努めてまいります。

住まいづくりを使命として

「世界でいちばん幸せな場所」となる

積水ハウスはこれからも

そんな探求から生まれています。

「ファミリースイート」という提案も

家族が同じ時間も空間も共有できる。

仕切りとなる壁のない大空間で

安心して、のびのびと、つながりながら。

それぞれ自由に過ごすことができれば。

それがいの見えるほどよい距離感で

家族がいつしよに暮らしながら

積水ハウスは考えつづけています。

それはどんな家だろう、と

住めば住むほど幸せを感じる家。

肌で感じて。

いつも

目に見えて。

幸せは

Family Suite

それは、家族の幸せな大空間。

ECO FIRST 環境大臣認定
エコ・ファースト企業

業界初の〈エコ・ファースト企業〉として環境大臣より認定を受けました。

積水ハウス株式会社〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル www.sekisuihouse.co.jpファミリースイートのサイトをご覧になれます。
(一部の携帯電話を除く)